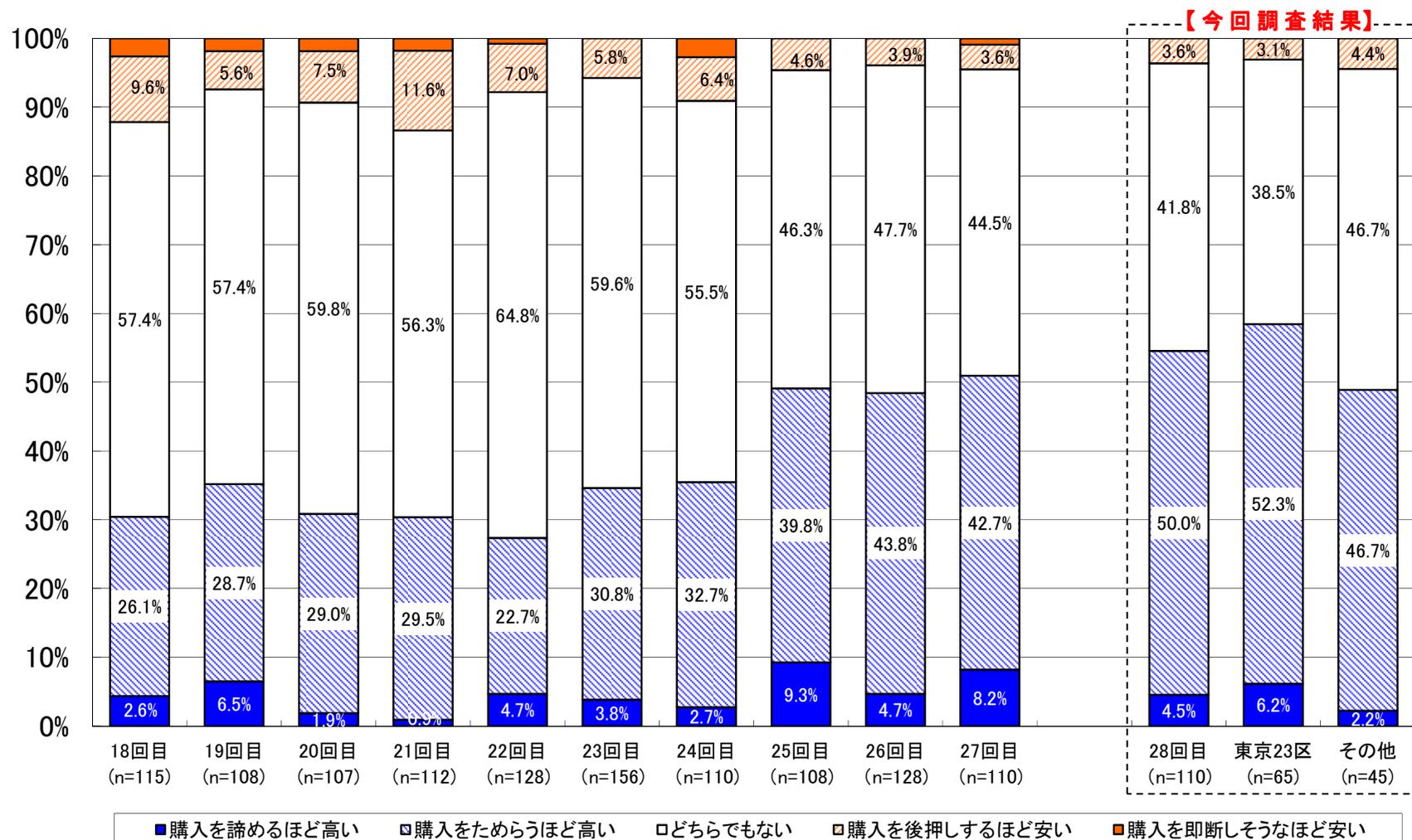


現在の物件の購入価格への意識

現在の物件価格に対し「高い」(購入を諦めるほど+ためらうほど)との回答は55%。2014年4月～10月調査時より、今回(2015年1月)は、この回答率が増加している。特に、購入検討エリアが東京23区の影響者は6割弱が「高い」と回答しており、都区部の価格上昇傾向が顕著だといえる

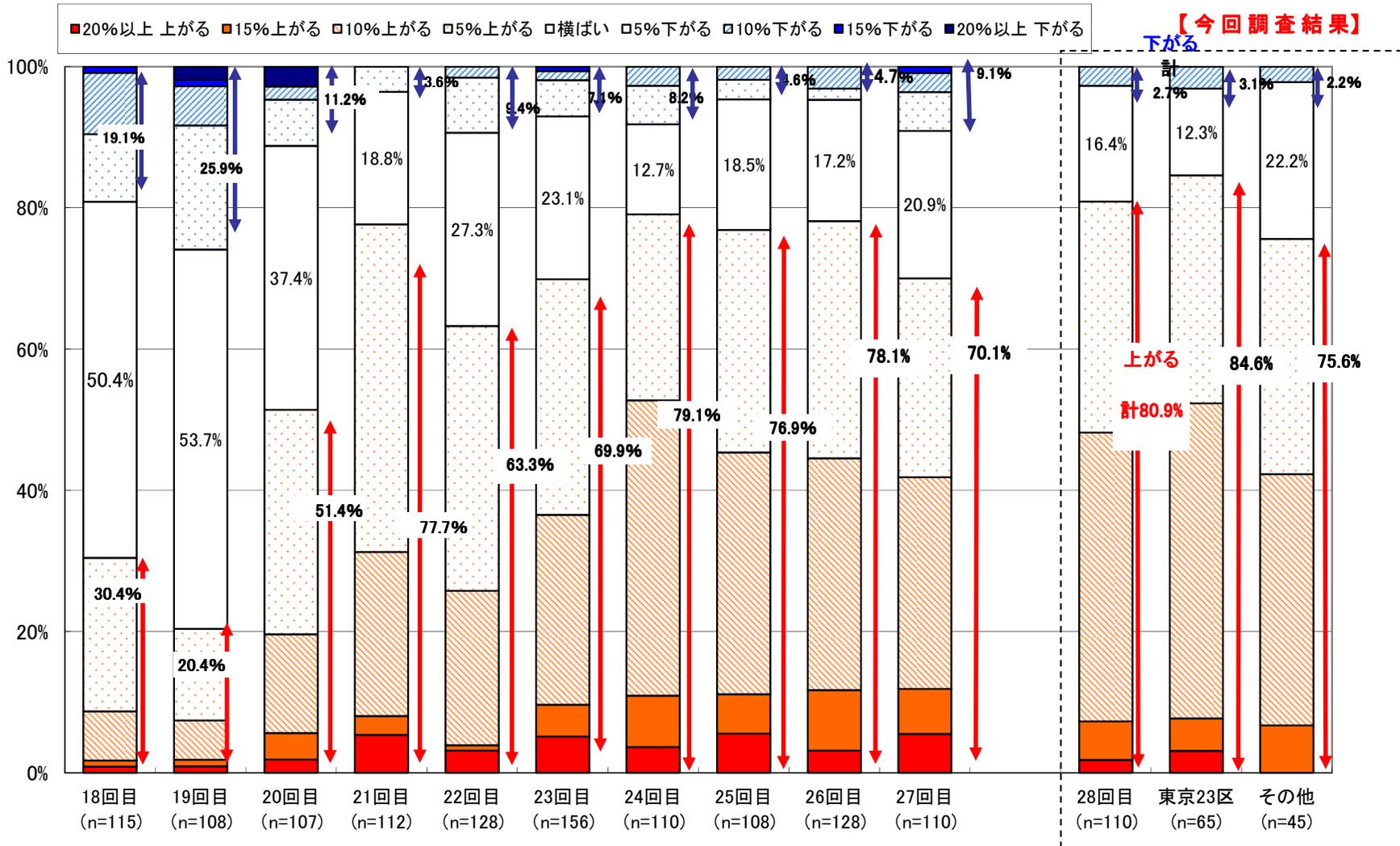
図1.「現在の物件の購入価格(分譲価格・金利・税制含む)についてどのように感じているか」



1年後の価格変化

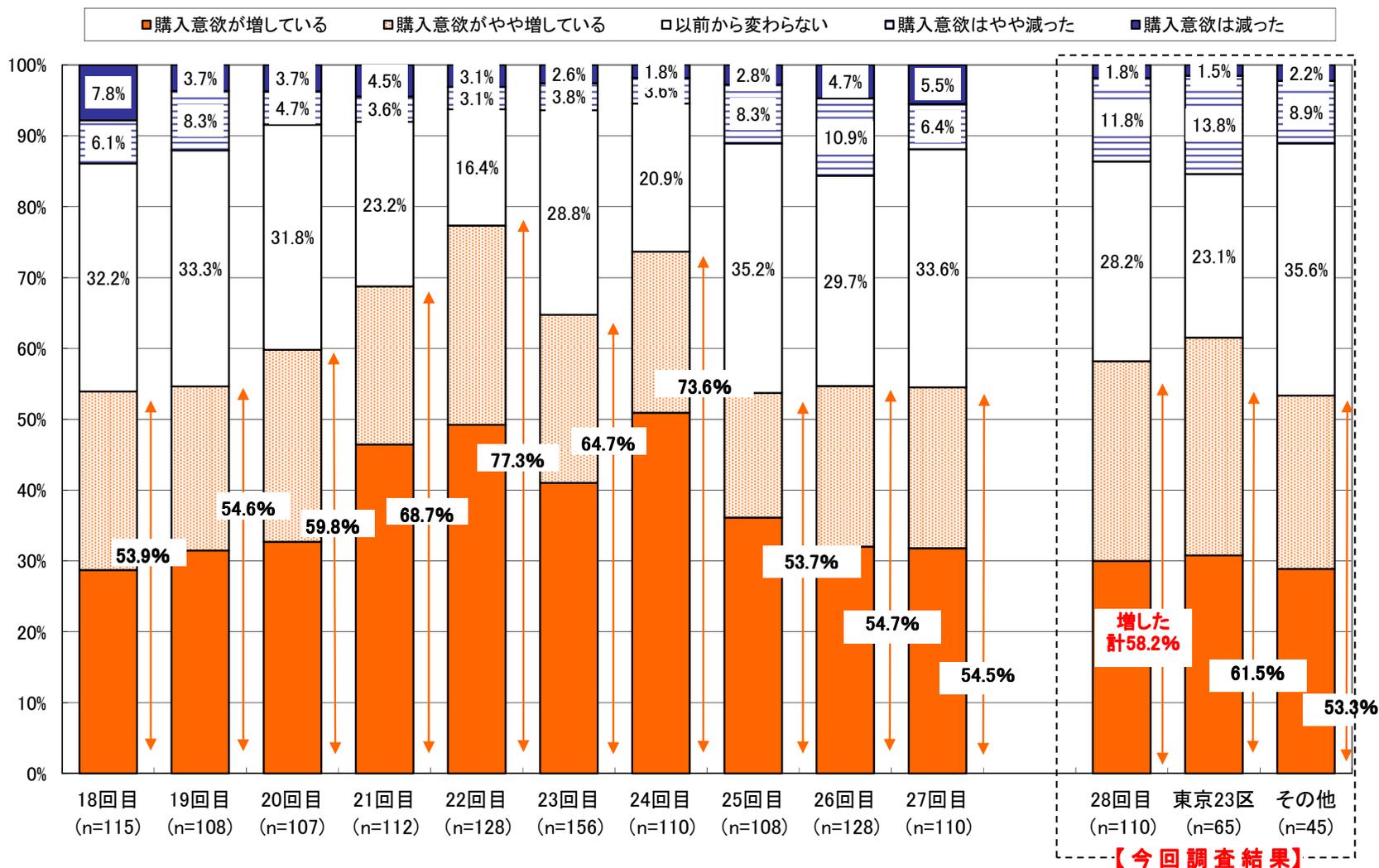
1年後のマンション価格が上がる予想するのは全体の約8割と高水準が続く。購入希望エリアを東京23区と他区に分類すると、東京23区で検討している人はそれ以外に比べ、「上がる」との回答が10ポイント近く高い。エリアによって、価格上昇の見込みが異なる。

図2.「1年後の価格変化」



購入意欲が増している(増している+やや増している)のは全体の58%と前回より4ポイントの増加。
 この設問でも購入検討エリアが東京23区の回答者はそれ以外の回答者に比べ、意欲が高い。

図3.「購入意欲」



マンション購入に対する心境

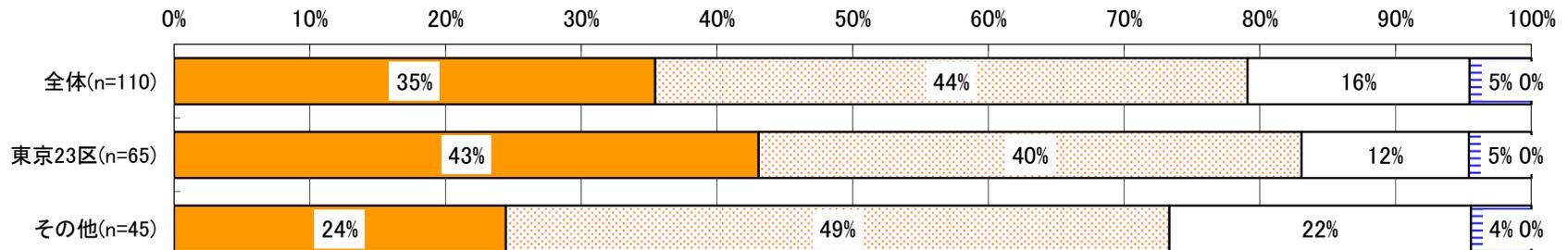
なるべく早く購入したほうがいいのか、では、特に東京23区を購入検討している人の「そう思う+まあそう思う」の回答率は83%と、それ以外のエリア検討者に比べ10ポイント高い。都区部の価格上昇は顕著で今後も上昇が続くことを見込んでいるので「早く購入したほうがいい」と判断している。

以前より購入検討エリアを広げているか、は年収が1000万未満の人は「そう思う+まあそう思う」の回答率が24%で、1000万以上に比べ12ポイント高い。物件価格の上昇は、ファイナンスがひけるかどうかにも影響を及ぼすため、年収1000万未満の層は買えるエリアを模索している。

図4.「購入に対する心境」

■ そう思う □ まあそう思う □ どちらでもない □ あまりそう思わない ■ そう思わない

◆ 早く買ったほうがいい



◆ 以前よりエリアを広げて検討

